

	A	B	C	D
1				<様式11-1>
2		令和6（2024）年度		学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書
3				清水児童館
4	生活 援 助 機 能	活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
5				
6			子どもの状況等の把握	職員を各室に配置、また各職員の持ち場だけでなく、連携を心掛け全体的な状況把握に努めた。
7			安全と衛生及び健康管理	コロナ5類化により利用者のマスク着用はほぼなくなったが、換気設備の見直し・工事をした。咳がひどい子や急な寒暖差等で不調が長く続く子等、個別必要な対応を取った。気温が高くなり熱中症の危険性がある時期はこまめに確認、遊びの実施、塩分チャージを配る等の対応をした。
8		安全・衛生の確保	遊びの指導と声かけ	外遊びが建物の屋上になるため、夏期は熱中症の危険があり使用できない。夏休みは隣接の庁舎内にある体育館を借り、運動遊びの環境を整えた。また自然に触れる機会が少ないため、土曜日などに近隣の公園に遊びに行き、体験の拡大を試みた。
9			おやつを提供	感染予防を前提におやつ時は黙食、机は一人一台とした。また食べたことがないために拒否することも多いが、アレルギーのあるものでなければ少しだけ食べてみようと呼掛けをしている。苦手なものが多い児童には個別対応をした。
10			習慣づくりの指導と援助 （時間の管理・学習時間の設定・朝の会）	今年度から1年生は帰りが早くなった。6年生までの登録がある中、放課後の時間が短いことは変わりなく、全体で動く設定は少なくし、自身でどのように時間を配分するか考えられるようにしている。館内では落ち着かない子も居る中、図書館が寛大に見守ってくださるので、図書館の利用も増えた。
11		健康の管理・情緒の安定	日々の生活における様々な個別対応	介助対象児童が多い中、一人ずつ記録を付け、職員数が足りないときは連携しながら見守りをした。子ども達の間で助け合う関係も構築されてきている。日々の見守りの中で子どもの様子を昼礼で共有し、一人ひとりに必要な対応を考え実施した。
12			手洗い・うがい・消毒の慣行	毎日声掛け、慣行しない子どもには必要性を伝え続けた。おおむねできている。
13			ハンカチ・ティッシュの携帯指導	保護者に周知しているが持参しない児童が多い。引き続き声掛けをし必要性を伝えていく。
14			挨拶の慣行	登館時・下館時に職員が対応、定着してきている。
15		基本的生活習慣の確立	片付け・整理整頓指導	学校指定の持ち物が多く、また制服・制帽があるため他児の物と混同しやすい。自分の物はしっかりロッカーに入れるよう声掛け、遊びの切り替わり時に職員から服装や使わない物について声掛けをした。おもちゃは保育スペースの全体把握をする職員から都度声掛けをし、こまめに片付けるよう指導した。
16				
17				
18	子 ど も 育 成 機 能		お誕生日やデー	ひとりひとりの好きなおやつを誕生日に出した。バースデーカードはその子のために写真を撮り、お祝いした。
19			入会式	当日の司会を子ども達から募集し、その中で役割分担をして臨んだ。子ども達中心の子ども達のための式として展開。子ども達の遊びの発表はやりたいたい子どもがたくさん参加できる機会になった。保護者の方も温かく見守り、喜んでくださった。
20		生活体験の拡大	縁日準備	各コーナーの準備や配置、役割などを事前に確認。ヨーヨーの用意なども意欲的にやれた。
21			縁日話し合い	内容について職員から大枠を伝え、子ども達から案を出した。穏やかに話し合い、譲り合うことのできるメンバーで、拗ねることなくスムーズに進んだ。
22			学童縁日	それぞれ役割を持った実行委員が自主的に動き、オセロのコマ全部裏返す、宝石転がし、ヨーヨー釣り、おやつビンゴを楽しんだ。
23			体育館遊び	いつものテラス遊びよりもはるかにスペースが広くなり、同じ遊びでも全く違う体験になった。チームで協力・作戦を考えられる遊びが特に盛り上がった。最後の片付けも自分から進んでやれていた。
24			修了式	子ども達の今年一年を振り返り、一人ずつ職員からのメッセージと写真の貼ったカードを渡す。写真をお互いに見せ合ったりして喜ぶ姿が見られた。
25			子ども達による異動職員のお別れ会	異動職員のお別れ会。事前にお礼のお手紙を書き用意、当日は子どもからそれぞれお別れと感謝の言葉を伝えお礼を言う。子どもから職員も言うてほしいと声が上がリ、職員もそれぞれ感謝の言葉を伝えた。
26				
27	子 育 て 支 援 機 能		お弁当いらんデー	夏休み最終日、春休み代休日などが主。内容は数種類の中から一人一人が選ぶ。今回初めて注文する店も複数あり、子ども達も楽しみにしていた。
28			ケース検討会	連盟岡崎先生と潮田先生と田爪教授に介助対象児童の館での様子を見てもらい、各児童の現状、前年度からの成長、支援内容を確認。学校は当日参加できなかったが、後日内容を共有。
29			介助者会議	介助対象児童の受け入れからこれまでの介助について振り返り、共有した。保護者懇談の内容、成長などを確認し介助の在り方、必要性を確認できた。
30		子育てに必要な情報の提供	入会説明会(学童クラブ入会のご案内)	新入会家庭を対象に実施、一堂に顔合わせ、清水児童館での保育を具体的に伝えられた。また継続登録される家庭においても利用の手引きとして配付した。
31			個人懇談	6月、11月と実施。子ども達の成長を伝え、保護者の思いをうかがい、日々の保育内容に活かすことができた。
32			小学校との連携	お便りを持参、学校の予定などの確認。介助対象児童の担任と個別で話し合い、放課後、夏休みの様子を、見に来られた。
33			専門機関との連携	登録児童の通っていた園や支援を受けている専門機関と連携し、改めて子どもの現状、様子を捉えなおすことができた。
34		子育ての仲間づくり	なかよし発行	お便りを通して表面では月ごとの予定を伝え、裏面では子ども達の日々の様子を伝えた。保育の様子を写真付きの壁面を作り、関心を持って見てもらえるように展開した。
35				
36				

令和6（2024）年度学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

清水児童館

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容
		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	1～3年	4～6年	中高生	大学生	大人			
生活援助機能															
登下館時の安全指導	293														1年生を中心に登下館の安全について指導する
手洗い・うがい・消毒の慣行	293														手洗い、うがい、消毒の習慣を定着させる
ハンカチ・ティッシュの携帯指導	293														衛生管理の為ハンカチ、ティッシュを各自持参する
挨拶の慣行	293														挨拶の習慣をつける
片付け・整理整頓指導	293														自分の身の周りの片づけや整理整頓の指導を行う
子どもの状況等の把握	293														各室に職員を配置し子どもの状況管理を徹底する
安全と衛生及び健康管理	293														感染症対策や安全管理を徹底する
遊びの指導と声かけ	293														適切な遊びの提供や指導を行う
おやつ提供	293														毎日の補食としてのおやつ提供を行う
習慣づくりの指導と援助	293														宿題の場所の提供や声掛けをし、習慣作りを行う
（時間の管理・学習時間の設定・朝の会）															
日々の生活における様々な個別対応	293														児童、保護者への対応等の確認
子ども育成機能															
お誕生日やデー	37	291	245	322	180	79	16							1133	お誕生日のお祝いをし、その児童のリクエストしたおやつを食べる
入会式	1	10	7	11	8	3	1							40	新入会の児童のお祝いをする
縁日準備	1			2	2	1								5	学童縁日直準備・打合せ
縁日話し合い	3			5	6	3								14	学童縁日内容の話し合い、制作等
学童縁日	1	9	9	13	8	3								42	夏休み最終日に子どもが提案し準備をしたコーナー遊びを展開
体育館遊び	9	52	48	67	47	16		1						231	体育館を借りて運動遊びをする
修了式	1	9	9	14	3	2								37	学童クラブの修了をみんなでお祝いする
子ども達による異動職員のお別れ会	1	8	4	8	4	2								26	職員とのお別れ会
子育て支援機能															
個人懇談	25												46	46	保護者と児童の情報共有をする
お弁当いらんデー	4	32	33	52	20	10								147	館で昼食を発注し保護者の負担を減らす
ケース検討会	1												5	5	連盟主催のケース検討会
介助者会議	1														介助対象児童について臨時職員、介助者を含めて会議
入会説明会	1												8	8	学童クラブ入会に際しての説明会
なかよし発行	12														毎月学童クラブのお便りを発行する
小学校との連携	10														小学校とおたよりのやりとりや情報交換をする
専門機関との連携	6														保育園と新入会児童の情報交換をする

*注1 行事名は、（１）生活援助機能 （２）子ども育成機能 （３）子育て支援機能に分類して記入すること
*注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること